

2013 年 3 月

お客様各位

重要なお知らせ

平素より東芝マイクロコントローラをご使用頂き、誠にありがとうございます。

東芝マイクロコントローラご使用上の重要なお知らせをお伝えしています。製品をご使用の際には、必ず確認頂きますようお願い致します。

▶ クロック逡倍回路(PLL)に関する使用上の注意について (2013 年 3 月)

※ 2010 年 4 月 1 日の日付、またはそれ以前のデータシートをお持ちのお客様は、最新のデータシートをダウンロードしていただくか、担当営業までご請求ください。

東芝マイクロコントローラ TX19A/H1 シリーズ**TX19A/H1 シリーズ**

TMP19A44FDAXBG TMP19A44F10XBG TMP19A44FEXBG TMP19A31CYFG

お客様各位

2013年3月

クロック逡倍回路(PLL)に関する使用上の注意について

掲題の件、TX19A/H1 シリーズに内蔵するクロック逡倍回路(PLL)に関するご使用上の注意についてデータシートに追記しましたのでご連絡いたします。

ご迷惑をおかけしますが、内容につきご査収くださいますようお願い申し上げます。

なお、本件につきましてご不明な点がございましたら、弊社営業担当までお問い合わせいただきますようお願い申し上げます。

— 記 —

【追記内容】

旧

5.6 クロック逡倍回路 (PLL)

高速発振器の出力クロック f_{osc} を8 逡倍した f_{p11} クロックを出力する回路です。これにより、発振器への入力周波数は低く内部クロックは高速にすることが可能です。

新

5.6 クロック逡倍回路 (PLL)

高速発振器の出力クロック f_{osc} を8 逡倍した f_{p11} クロックを出力する回路です。これにより、発振器への入力周波数は低く内部クロックは高速にすることが可能です。

(注) PLL 動作開始の際には、ウォーミングアップ機能等を用いて安定時間を確保する必要があります。動作を開始するときのロックアップ時間として約100 μ s が必要です。

以上